

皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

（2026年3月期の連結業績）

経常利益は404億円、親会社株主に帰属する当期純利益は326億円計上することができました。

この間の株主の皆さまならびにお取引先の皆さまのご支援に厚く御礼申し上げます。

（今後の業務運営）

当金庫は、外部環境・内部環境が大きく変化するなか、「倫理憲章・コンプライアンス行動基準」によるコンプライアンスの遵守をすべての土台とし、行動の原点である「CHUKIN Way」をもとに、当金庫が果たすべき使命である「MISSION」を遂行し、「PURPOSE」の実現を目指してまいります。

当金庫は、2025年6月に政府保有株式の全部処分が完了したことで民営化を実現し、大きな転換点を迎えました。変化する外部環境や中小企業への影響、当金庫を取り巻く状況を踏まえ、新たに長期的に目指す姿と、その具体的な行動プランとして、「長期戦略・変革プラン」を策定し、2026年3月6日に公表いたしました。

長期戦略・変革プランは、「集めて・つなげて・価値を創る」をキーワードとして、当金庫のPURPOSEである「企業の未来を支えていく。日本を変化につよくする。」の実現に向け、中小企業に関わる様々な関係者が集まり・つながり・価値が生まれるオープンな社会「中小企業経済圏」の確立・活性化を目指し、当金庫が「プロデューサー」として主役である中小企業を支え、「中小企業経済圏」の参加者の価値向上に貢献することを目的としております。

外部情報と経営資源が不足する日本の中小企業のために、「中小企業経済圏」を掲げ、そこに「集まる」多様な参加者を「つなげて」、お客さま本位で新たな価値創造に取り組んでまいります。

皆さまのこれまでの格別のお引き立てに感謝申し上げるとともに、引き続き力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。